

特集1

コンピテンシー基盤型カリキュラムに
臨床薬理の視点を組み込む

看護師の臨床判断を育成する看護基礎教育

なぜ今、「看護基礎教育に臨床薬理の視点を取り入れる」のかーモデル・コア・カリキュラム改訂とコンピテンシー基盤型教育の流れ（柳田俊彦）／コンピテンシー基盤型カリキュラムによる質保証ー臨床薬理の視点を統合した看護の臨床判断を、カリキュラムでどう育て、どう評価するか（西村礼子）／薬剤師の視点からみた「看護臨床薬理学教育」のデザイナーー薬学教育改革の経験を、看護基礎教育にどう活かすか（眞鍋貴行）／医師の視点からみた「看護臨床薬理学教育」の要点ー診療ガイドライン、治療戦略、臨床判断をどう伝えるか（大内基司、犬山彩乃）／臨床薬理の視点を専門科目にどのように活用するかー「臨床薬理の講義・演習」を踏まえた看護専門科目の設計例（松田明子）／シミュレーション・OSCE・IPEで学ぶ看護臨床薬理ー患者安全と共同意思決定を中心に据えた教育デザイン（柳田俊彦）

特集2

看護教育のアカデミック・ハラスメント
明日の現場で使える実践10のアクション

【被害者編】声をあげられない学生には何がおきているかー教育現場における権力構造と沈黙のメカニズム（堀田亮）／【加害者編】指導行為としてのハラスメントー加害者の心理的傾向と認知的正当化のメカニズム：AHTS-SAの知見から（山崎由花）／【傍観者編】傍観者はなぜ介入できないのかー看護教育場面における沈黙の心理的・社会的規定因（近藤和樹）／【構造編】看護教育におけるハラスメントの組織的・構造的規定因（津野香奈美）／【実践編】看護教育現場で今日からできること（堀田亮、近藤和樹）

巻頭インタビュー

今、気になるあの本の著者！ 恩蔵絢子さん

連載

看護教育における変わるもの変えられないもの② 藤井光輝／学生が自らの役割を見いだすための地域・在宅看護方法論② 椎津美里、他／大学と病院が共に創る看護基礎教育③ 藤村朗子、他／臨床判断を支える論理的思考力の育て方④ 金子多喜子、他／知を結び、実践を育むポラリス発の看護教育④ 菅野由美／偏見・差別を科学する① 木村映理

※予定であり変更の可能性があります。

訂正とお詫び

以下に関し、著者氏名の表記に誤りがありました。ここに訂正し、深くお詫び申し上げます。
67巻1、2号目次 【連載「なぜそう考えた？」を語る学生に 臨床判断を支える論理的思考力の育て方】
誤：宮下苑薫／正：宮下苑薫

編集後記

本号をもちまして、『看護教育』の担当を離れることとなりました。これまで多くの先生方、読者の皆さまに支えていただき、心より御礼申し上げます。取材や編集を通して出会った先生方の言葉や実践の数々は、私にとって生涯忘れたいものとなりました。本誌がこれからも看護教育に携わる皆さまにとって、思索と実践をつなぐ場であり続けることを願っております。今後は『医学界新聞』担当として新たな場から医療・看護の動向を見つめつつ、看護教育の取材も続けてまいります。と思っています。（福村）

今年度4月より入社し、新しく『看護教育』の担当となりました大村です。3月までは美術大学にて、「場に佇む感覚」「他者との関係性」などをキーワードに身体芸術論を研究していました。初めて触れる看護の世界。多様な人々の命や暮らしに向き合う営みに、日々新鮮な気づきを得ています。まだまだ手探りですが、これまで学んだ「異なる他者と共に生きるすべ」という視点を糧としつつ、看護の奥深さを真摯に学び、本誌を通して、看護教育に携わる皆さまのお力になれるよう尽力してまいります。（大村）

看護教育 第67巻3号（通巻778号）
2026年6月25日発行（年6回発行）
発行：株式会社医学書院
代表者：金原 俊
〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23
『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776
メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp
広告問い合わせ TEL：03-3817-5696
（pr@igaku-shoin.co.jp）
担当：福村・坂元・大村・番匠
Published by IGAKU-SHOIN Ltd.
1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2026, Printed in Japan
印刷：株式会社双文社印刷
1部定価 2,860円（本体2,600円＋税10%）
2026年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）
冊子版：17,160円（15,600円＋税10%）
電子版／個人：16,500円（15,000円＋税10%）
電子＋冊子版／個人：18,810円（17,100円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。
「看護教育」は株式会社医学書院の登録商標です。

季節柄、毒草のニュースを耳にします。植物は移動できないため、大半の種（しゅ）は生存のために多様な化学物質を蓄えます。色や香りとなって受粉を助けたり、防御のための毒となったり、ある時には薬として利用されます（ジギタリスが有名）。身近な植物にも注意が必要で、触れた手で目や口に触れることで症状が出ることがあります。この時期はアジサイの葉に注意が必要です。大葉に少し似ているため、飾りとして使われたものを口にとると、嘔吐やめまいなどの食中毒を起こします。（坂元）

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2026年2号

特集 実習指導のお悩み、解決します！
現場の知恵、集めました。



学生の多様化や臨地実習の複雑化により、実習指導の悩みは一層多様化していますが、施設・個人間で実践知を共有する機会は十分とはいえません。本特集では、現場の切実な困りごとを起点に、具体的な支援の視点をQ & A形式で提示します。学生との関わりの戸惑い、実習指導の要点、発達障害支援や思考発話、さらに生成AIの活用と留意点まで、日々の実習指導を見直すヒントが満載です。

2026年1号

特集 専門基礎分野を臨床判断に接続する



専門基礎分野の各科目は看護実践の土台ですが、膨大な知識への苦手意識から学びが試験対策にとどまり、実践との断絶が生じています。知識を自分ごととして捉え、身体の仕事みや臨床とのつながりを実感することを目指し、専門基礎を看護の視点で捉え直し、臨床判断を支える学びの再構築の手がかりを提示します。

2025年6号

特集 課題をとらえ、新たな教育を自らつくるために
カリキュラム評価・開発のヒント



指定規則第5次改正から丸3年が経過。18歳人口の減少や求められる看護師像の変化を踏まえると、次回改正を待つのではなく、教員自身が地域・社会の医療課題を捉え、現行カリキュラムの見直しを進めることが求められています。本特集ではカリキュラム評価の意義や課題、実践例を紹介し、今後の評価・開発の方向性を考えます。

2025年5号

特集 「測りすぎ」評価からの脱却
看護の魅力に学生が気づける学びをどう支えるか



点数中心の評価では、看護実践に必要な総合的思考や態度を捉えきれず、形成的評価への転換が求められています。本特集では、評価を選別から学習支援へと見直し、授業・課題・フィードバックを結い直す視点から、学生が成長と看護の意義を実感できる真の評価を考えます。

2025年4号

特集1 へき地・離島がひらく可能性 これからの社会に必要な視点
特集2 地域医療の未来をつなぐ サテライト教室の役割と実践



人口減少と高齢化の進行により、地域医療を担う看護師育成は転換期を迎えています。特集1では、へき地や離島、診療所での学びを通じて、学生が地域包括ケアやグローバルな視点をどう養うかを考えます。特集2では、地域に暮らしながら学べるサテライト教室を取り上げ、学校・行政・医療機関が連携した人材育成の姿を探ります。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・商品・定期購読送料先変更等
<https://www.igaku-shoin.co.jp/inquiry>

○ 2025年3号 (Vol. 66 No. 3) 以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL : 03-5947-4781 FAX : 03-3923-4539
<http://www.toabook.com>

2026/09/26 19:42:26